

東京の新たなシンボルストリート「新虎通り」で コミュニティ施設をリニューアルオープン

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、地域に密着しながらまちづくり支援を行うことや新虎通りに新しい賑わいを創造することを目的に、平成 28 年から賑わい施設「URTRA」を運営してまいりましたが、今般、平成 30 年 6 月 1 日（金）新虎小屋（しんとらこや）としてリニューアルオープンし、当日 18 時からオープンイベントを実施しますので、お知らせいたします。

1 「新虎小屋」場所・案内図

【 新虎小屋 】

UR新虎通りまちづくり事務所案内図 1 階

【外観イメージ】



2 新虎小屋オープンイベント

6 月 1 日（金）18 時から「小屋開き」を行います。

当日は自由参加型で、インターネットラジオの収録や、まちの図書館「とらの本」お披露目、ランチで提供する「小屋カレー」試食のほか、コラボレーション先との共同企画を準備しています。

<本件に関するお問合せ先>

独立行政法人都市再生機構

東日本都市再生本部 総務部 総務課（電話）03-5323-0087

東日本都市再生本部 都心業務部 虎ノ門エリア計画第2課

（電話）03-6809-1432

3 新虎小屋で展開するコンテンツ

新虎小屋では、「新虎 GUIDE」「小屋めし」「とらの本」の3つのコンテンツを展開します。

① 「新虎 GUIDE」

新橋経済新聞を中心に新虎エリア地域情報誌を配布するほか、観光案内所としての機能を持たせます。

② 「小屋めし」

ランチでカレーなどを提供するほか、地域の飲食店とコラボレーションした特別メニューなどを展開します。

③ 「とらの本」

「まちの図書館」として展開し、新虎エリアで店を営む人や、まちづくりの活動を行っている人など地元の方々にブックディレクターとなってもらい、「みんなに読んでほしい本」を持ち寄っていただきます。

4 賑わい施設の運営経緯と今後の展開

UR都市機構では、新虎通りに賑わいを創出し、より魅力的なまちづくりを進めることを目的として、地元の方々と共にさまざまなエリアマネジメント活動を行っています。

その一環として、平成 28 年度から、コミュニティ活動の拠点となる「URTRA」を運営し、自主開催イベントを含め多くの方に足を運んでいただくことで、地域の交流の場を作っていました。

これからの「新虎小屋」では、以前から好評をいただいていたイベントをパワーアップして継続することに加え、まち歩きなどの新たなイベントを通してコミュニティ形成や地域のインフォメーションとしての機能も高めていきます。イベントの企画運営にあたっては、新橋・虎ノ門エリアで一緒に'にぎわい'を創出するコラボレーション先を広く募集していきます。

また、UR都市機構が事務局を務める（一社）新虎通りエリアマネジメントとの共同イベントなども企画運営をする予定です。

※ 【参考】新虎通りとは

環状2号線の地上部道路に、新しいまちに相応しく、親しみのある愛称名を設定するため、地域の方々を中心とした「環状第二号線（新橋～虎ノ門）地上部道路愛称名選考委員会」において愛称名の選考が行われ、新橋、虎ノ門を結ぶ道路ということが分かりやすく、親しみやすい表現であることから、平成 25 年 5 月に地上部道路の愛称名が「**新虎通り（しんとらどおり）**」と決定されました。

新虎通りは、平成 32 年度の東京オリンピック時には都心と湾岸部の競技施設を結ぶ中心道路になり、平成 31 年度にはBRT（バスによる高速輸送システム）の経路としても利用されることが予定されています。

また、東京都が定める「環状第二号線沿道新橋地区街並み再生方針」において、にぎわいと統一感のある街並みの形成、国際競争力を備えた機能の誘致等を目指しており、「東京シャンゼリゼプロジェクト」の第一号に指定される等、東京の顔・東京のシンボルストリートとしての役割が高まっています。